

麻生リハビリ総合病院だより



第1号院外広報誌では、麻生リハビリ総合病院とは？回復期リハビリテーション病院とは？のご紹介をさせていただきます。

回復期リハビリテーション病棟とは？

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折（太ももの付け根の骨折）などの病気を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者様に対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

この病棟では病気や骨折などを発症してから入院までの期間と病棟に入院できる期間が決まっております。

患者様に対し、寝たきりにならないように、入院後すぐに医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士などの多様な専門職が患者様・ご家族様と関わり、治療の最適なプランを作成します。

入院料1は最も重症な方への対応が可能です。また当院は365日リハビリを行っているだけでなく、日常生活動作の維持・改善効果の高いリハビリを提供している実績があります。

全病棟リハビリテーション病棟

入院基本料1を算定

回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準等について

回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準について、以下のとおり見直す。

- 入院料1及び入院料3におけるリハビリテーション実績指数の見直し
- 管理栄養士の配置に係る要件の見直し 等

	入院料1	入院料2	入院料3	入院料4	入院料5	入院料6
医師	専任常勤1名以上					
看護職員	13対1以上（7割以上が看護師）		15対1以上（4割以上が看護師）			
看護補助者	30対1以上					
リハビリ専門職	専従常勤のPT3名以上、OT2名以上、ST1名以上			専従常勤のPT2名以上、OT1名以上		
社会福祉士	専任常勤1名以上					
管理栄養士	専任常勤1名			専任常勤1名以上が望ましい		
リハビリ計画書の栄養項目記載	必須					
リハビリテーション実績指数等の院内掲示等による公開	○					
データ提出加算の届出	○		○		○（※経過措置あり）	
休日リハビリテーション	○					
「重症者」(*1)の割合	3割以上		2割以上		-	
重症者における退院時の日常生活機能評価	3割以上が4点（16点）以上改善		3割以上が3点（12点）以上改善		-	
※○内はFIM総得点						
自宅等に退院する割合	7割以上					
リハビリテーション実績指数	40以上		35以上		30以上	
点数	2,129点 (2,115点)		1,899点 (1,884点)		1,736点 (1,721点)	
※○内は生活療養を受ける場合	2,066点 (2,051点)		1,841点 (1,827点)		1,678点 (1,664点)	

*1 日常生活機能評価10点以上又はFIM総得点55点以下

当院には

総勢 **100** 名以上の
リハビリスタッフが
在籍しています！

当院の特徴を伝えたいんです！

- ① 回復期リハビリ病床数 **180床** (45床×4病棟)
- ② 2001年開院で回復期リハビリ病院としての歴史が長い
- ③ 全病棟で**入院料1**を算定
- ④ 365日リハビリテーションを行っている
- ⑤ 全病棟に専従医師・医療ソーシャルワーカーが配置されている
- ⑥ 日本リハビリテーション医学会認定の指導医・専門医・臨床認定医が在籍している
- ⑦ 「回復期リハビリテーション認定看護師」が在籍している

川崎市内で
病床数
No.1です！

1) 回復期リハビリテーションサービスの対象者及びその家族に対する**質の高い看護**の提供

2) 回復期リハビリテーション病棟における、個人・集団・組織に対する**リスクマネジメント**

3) 回復期リハビリテーションサービスにおける**多職種との協議とチームアプローチの実践**

リハビリテーション支援ロボット

ウェルウォーク (トヨタ自動車製) を導入

リハビリテーション支援ロボット「ウェルウォーク WW-1000」を導入しています。**ウェルウォーク**は、主に歩行練習を支援するロボットです。

このロボットは従来のリハビリテーションにおける問題点を解決し、運動学習理論に基づくリハビリテーションを行うことを支援します。従来のリハビリテーションに比べ歩行自立に至る時間が短縮されるなどの報告がされており、多くの患者様に、より効果的で効率的なリハビリテーションを提供させていただけると考えております。



麻生リハビリ総合病院 ～沿革～

- 2001年10月 「麻生リハビリ総合病院開設」(180床)
- 2002年01月 回復期リハビリテーション病棟入院料届出(45床)
- 2007年02月 (財)日本医療機能評価機構の病院機能評価 Ver5.0 認定取得
- 2011年05月 地下水プラント完成
- 2013年10月 回復期リハビリテーション病棟入院料届出(180床)
- 2017年05月 麻生リハビリ総合病院 病院機能評価 3rdG:Ver1.1の更新、および付加機能リハビリテーション機能 ver.3.0 認定取得

充実したリハビリテーションで

患者様の健やかな生活を支援いたします



【7月】

七夕の飾り付けを行いました。



どの病棟も素晴らしい飾り付けの笹が完成しました。(笹は感染防止の観点からプラスチック製のものを使用しております)
 願い事には「早く元気になって家に帰りたい」「家族に会いたい」など、ご自身の治療に関することや新型コロナウイルスによる面会制限等の状況への願い事が多く見られました。

【8月】縁日を開催しました。



笑顔あふれるひととき...



感染防止の観点から、病棟ごとに時間を分けて縁日を実施しました。ヨーヨー釣りや金魚すくい、輪投げ、的当て、くじ引きを皆さん笑顔で楽しんでおられました。



また、当院に4人在籍しているベトナム人技能実習生には、浴衣を着て日本の縁日の雰囲気味わってもらい、患者様にも好評でした。今後も、楽しみながらリハビリをしていただけるようなイベントを開催していきたいと思っております。



当院の感染防止対策の取り組み

- ✓ 来院されるすべての方に検温を実施
- ✓ マスク・手指衛生の実施
- ✓ 換気・清掃の実施
- ✓ ソーシャルディスタンスの実施
- ✓ 面会制限の実施
- ✓ 電話診療の実施(再診・処方)



院内各所にアルコール消毒液を設置、リハビリ中の患者様同士の間隔、ロビー待合席の間隔、手すりやエレベーターなどのこまめな清掃等
 安心して当院をご利用いただくために全職員で取り組んでいます。

入院のご相談はお気軽にお問合せください

地域医療支援課では、

医療機関・福祉サービス機関との連携を強化し円滑な入退院支援を提供するよう心掛けております。各病棟に担当の医療ソーシャルワーカーがおりますので入院生活や退院後についての不安や悩み、心配ごとなど、お気軽にご相談ください。



地域医療支援課

044-987-2203(直通)
 044-981-6835(直通)
 月曜～土曜日(日曜・祝日を除く)
 受付時間 9:00-17:00

送迎バス運行中

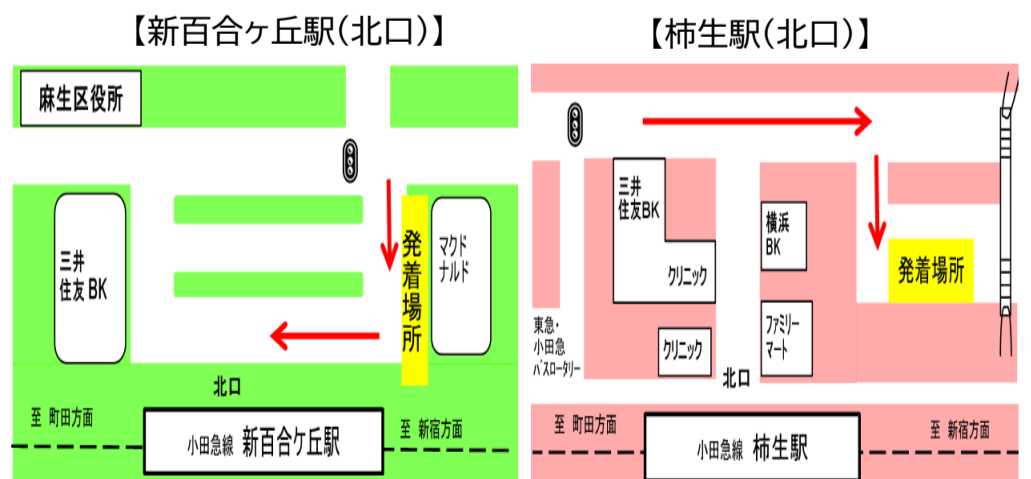


【運行日】月曜日～土曜日(日・祝日を除く)
 バスは20分間隔で運行いたします

【所要時間】
 新百合ヶ丘駅(北口) ⇔ 麻生リハビリ総合病院 約15分
 柿生駅(北口) ⇔ 麻生リハビリ総合病院 約10分

小田急線 新百合ヶ丘駅・柿生駅より無料のシャトルバスをご利用ください!

乗降場所



◆シャトルバスは道路事情により運行が遅れる場合があります。車いすの患者様もご利用いただけます(新百合ヶ丘駅発着のみ)。運行時刻など、詳細はお気軽にお問合せください。(044)981-6878 (代表)

